



令和8年度

吹田市立北山田小学校

学校経営方針

校長 福井 将人



目次

- 01. めざすこと
- 02. チーム北山田
- 03. 大前提の確認
- 04. 解決すべき課題
- 05. 主体性と当事者性
- 06. 決意



01

Aiming for

めざすこと



学校教育目標



自律 ● 協働 ● 創造

自ら考え、
判断し、
行動する

ちがいを
豊かさにする

自ら
創り出す

Aiming for

めざすこと

めざす学校像

一人ひとりが

可能性を發揮し

笑顔あふれる学校



めざす子ども像

き

共感力を働かせ

た

互いを大切にし

や

やる気いっぱい

ま

学び・考え・行動する

だ

誰もが輝く北山田っ子



めざす教職員像

• 子どもを**信頼**する



• 常に**問い続け、学び続ける**



• **目的達成に向け、チーム北山田**

として**協働**する



02

Team KITAYAMADA

チーム北山田



笑顔・上機嫌・対話の文化で 攻めめの姿勢

現状維持
前例踏襲では
何も変わらない



課題を見つけ
共有し
半歩でも前へ！

どんどん
チャレンジ

どんどん
ワクワク

自己決定 = 幸福感

仕事にワクワクを

楽しいから

もっと学びたい！

学ぶからチャレンジしたい！

チャレンジするから

課題が見える！

課題が見えるから

学びたい！



楽しむことに
勝るものなし！

創るのは
一人ひとりの
「自分」

最高のチームを みんなで作ろう！



人間が発揮できる能力は環境によって変わる
だから

決めつけない / 思い込みを疑う / 可能性を信じる

そして 対話を大切に

最高のチームを
みんなで作ること



余白も生まれ、やりがいも生まれる

つまり

働き方改革・働きがよい改革
につながる！

03

Confirmation of the main premise

大前提の確認



子どもを信頼する

子どもはそもそも

善くありたい！



学びたい！
学ぶ力がある！



「子どもを信頼する」は

次期学習指導要領の基本的な考え方に示されている

多様性の包摂

につながる

社会モデル
の考え方を大切に



子どもの人権
を守ろう！

信じ抜く決意

目に見える子どもの行動は、環境との相互作用で引き起こされる。だから、行動にすぐ反応するのではなく、環境や背景に目を向ける！

子どもにとって教師は環境の一つ。

教師の在り方

が子どもに大きな影響を与えているということを自覚し、これでいいのか問い続けるんだ！

思考(特に潜在意識)は現実化する！

子どもの姿から

自分の在り方を問い直す風土を

〇〇さんが
攻撃的なのは、
自己肯定感の低さが
影響している
のかも。



だったら、
〇〇さんの良さは
~というところだから、
そこを意識して
見ておいて、積極的に
価値付けたら？

Confirmation of the main premise

大前提の確認

「子どもを信頼する」ことで その子の本来の姿が現れる！

開示面談でたくさんのエピソードを
聞くことができ嬉しかったです。



「子どもを信頼する」めがねをかけると

見えてくる姿がある

こんな一面があったのか！



こんな力が
あったのか！



「子どもを信頼する」めがねをかけると見えてくる姿がある

複数だと

さらに多面的に発見できる



子どもを信頼し、子ども主体の取組を進めるには…

より一層

高度専門職である

教師の専門性が問われる



教師の役割として…

教師がどこで
介入するかが
重要だね！

例えば…

- ・ 目的に立ち返る促し
- ・ 目的に基づく価値づけ
- ・ 取組に必要な最低限の知識、枠組みの指導
- ・ 新たな視点の提供
- ・ 思考を深める問い返し
- ・ 子どもの思考を整理し見える化する板書
- ・ 子ども同士をつなぐ
- ・ 振り返りの促し
- ・ 危機管理
- ・ …など



だから、私たちは常に
「これでいいのか？」と自分に



問い続け、
学び続けていく

04

Issues to be solved



解決すべき課題

Issues to be solved

解決すべき課題

取組の結果として 不登校



新規不登校0をめざしたい

取組の結果としての理想であって、数字だけを追い求めるのではない。

※不登校は組織として取り組む課題。

❗決して個人の責任ではない!❗

なぜなら…

地域の公立学校の存在意義は

地域に住む
すべての子どもたちの
豊かな学びと成長を
保障する場

だから



地域の公立学校として、**まず問おう**

- 地域の多様な子どもが
安心して通える環境に
なっているか？
- **教師としての在り方は**
これでいいのか？



解決すべき課題

文部科学省委託事業不登校の要因分析に関する調査研究結果の概要より

不登校のきっかけ要因

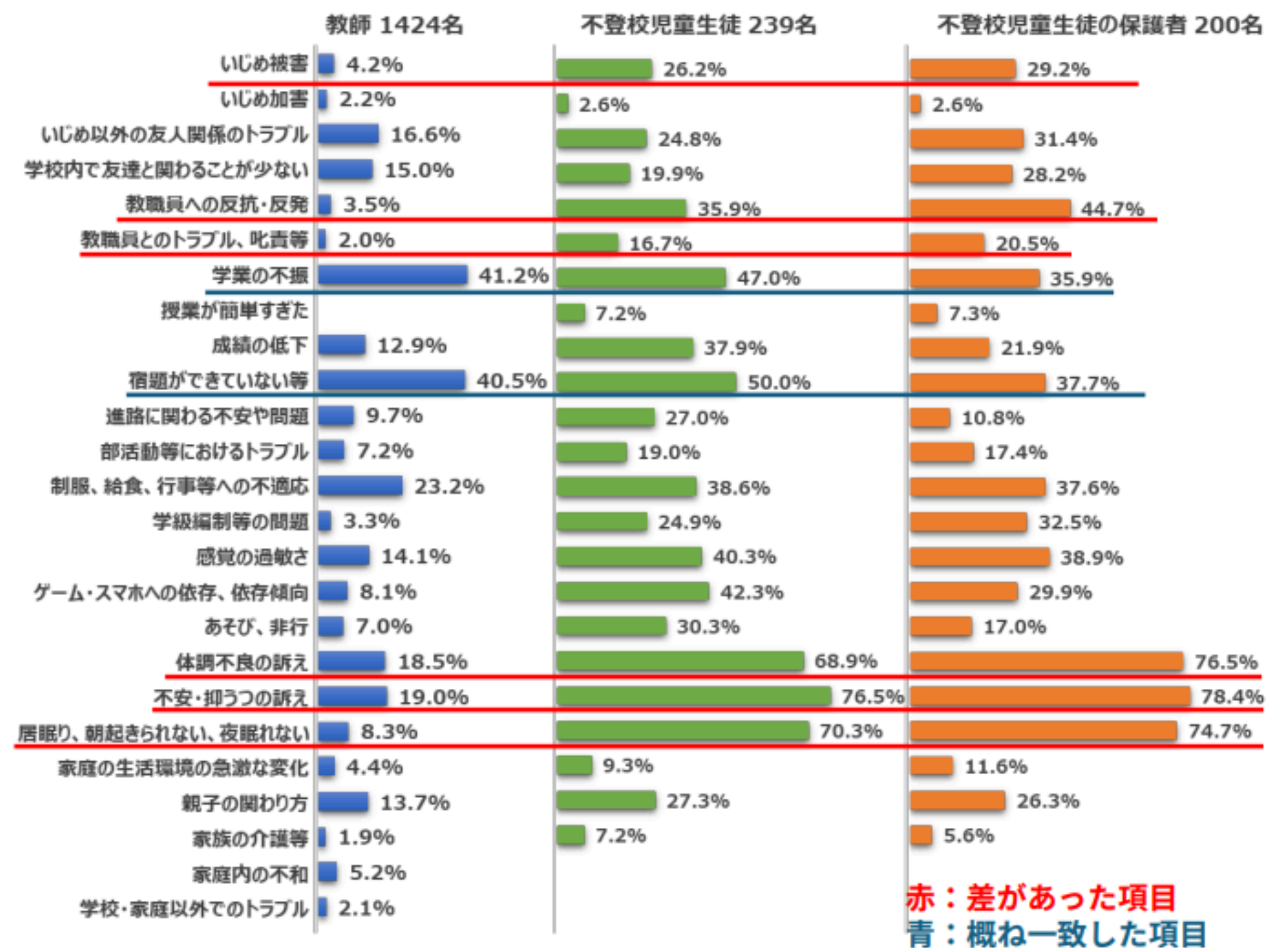
教師と子ども・保護者間で差がある

- いじめ被害
- 教職員への反抗・反発
- 教職員へのトラブル・叱責等
- 体調不良の訴え
- 不安・抑うつへの訴え
- 居眠り、朝起きられない、夜眠れない

教師と子ども・保護者間で差がない

- 学業不振
- 宿題ができていない等

きっかけ要因に関する教師・児童生徒・保護者の回答の比較



解決すべき課題

不登校のきっかけ要因

教師はあまり不登校の要因になっていると認識していないが、子どもや保護者は要因だと思っている項目

不登校未然防止のための手立て

教師と子ども・保護者間で差がある

- いじめ被害
- 教職員への反抗・反発
- 教職員とのトラブル・叱責等
- 体調不良の訴え
- 不安・抑うつ等の訴え
- 居眠り、朝起きられない、夜眠れない

未然防止、事案後の対応、見守りをより丁寧かつ組織的に行う

「子どもを信頼する」の視点から、自身の子どもとの関わり方を問い続ける

見た目では分かりにくい
→デジタル健康観察で毎日の確認が必要

教師と子ども・保護者間で差がない

- 学業不振
- 宿題ができていない等

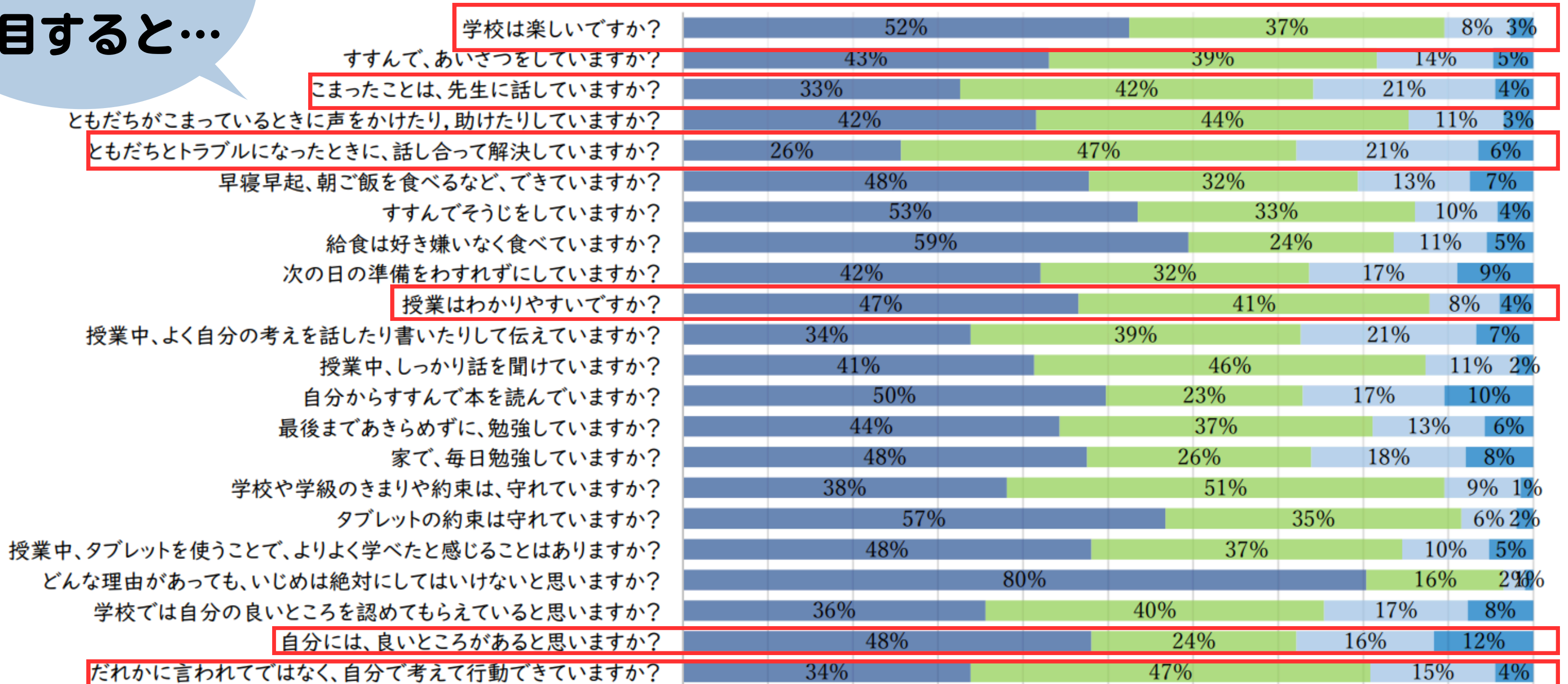
• 「個」の学習状況を見取り、探索的対話の中で、一人ひとりの「間違い」や「分からなさ」を生かす子ども主体の授業
• 子ども自身が、学び方や学ぶ進度を自己調整しながら進める授業

学校教育アンケート（児童用）の集計結果

概ね良いが、
否定的回答に
着目すると...

■ そうおもう ■ だいたいそうおもう ■ あまりそうおもわない ■ おもわない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



解決すべき課題

学校教育アンケート（児童用）結果より 改善のための視点・手立て

学校が楽しくない
11%（約46人）

以下の項目が改善されれば楽しくなるはず

困り事を先生に話していない
25%（約104人）

教師との関係性で話せないなら問題
そのような関係になっていないか問い直す

トラブルを話し合って解決していない
27%（約112人）

教師がジャッジし過ぎず、自己決定、合意形成
を促し、主体的な関係改善、問題解決を支援

授業が分かりにくい
12%（約50人）

- ・「個」に目を向けた授業改善
- ・自己調整できる授業

自分には良いところがあると思わない
28%（約116人）

- ・結果だけでなく、過程を価値付けて評価
- ・自己選択、自己決定の場面の設定

自分で考えて行動できていない
13%（約54人）

- ・指示・命令・号令から問いかけへ転換
- ・目的を共有し、手段は自己決定できるように

不登校は **組織として** 対策を講じる必要がある

チャレンジ!

その子らしく
学べる
仕組み

多様な子どもが
自分に合った**学習方略**を
身に付けられる授業の探究

徹底!

子どもの人権
にも関わる
土台

「**子どもを信頼する**」
マインドセットを**組織全体**で徹底



04

Subjectivity and partynature

主体性と当事者性



Subjectivity and partynature

主体性と当事者性

増加の一途

日本全国で...

小中高生の
自殺者数

(2025年 厚生労働省)

532人

小中学生の
不登校者数

(2024年度 文部科学省)

353970人

10代、20代の
投票率は…

低い！

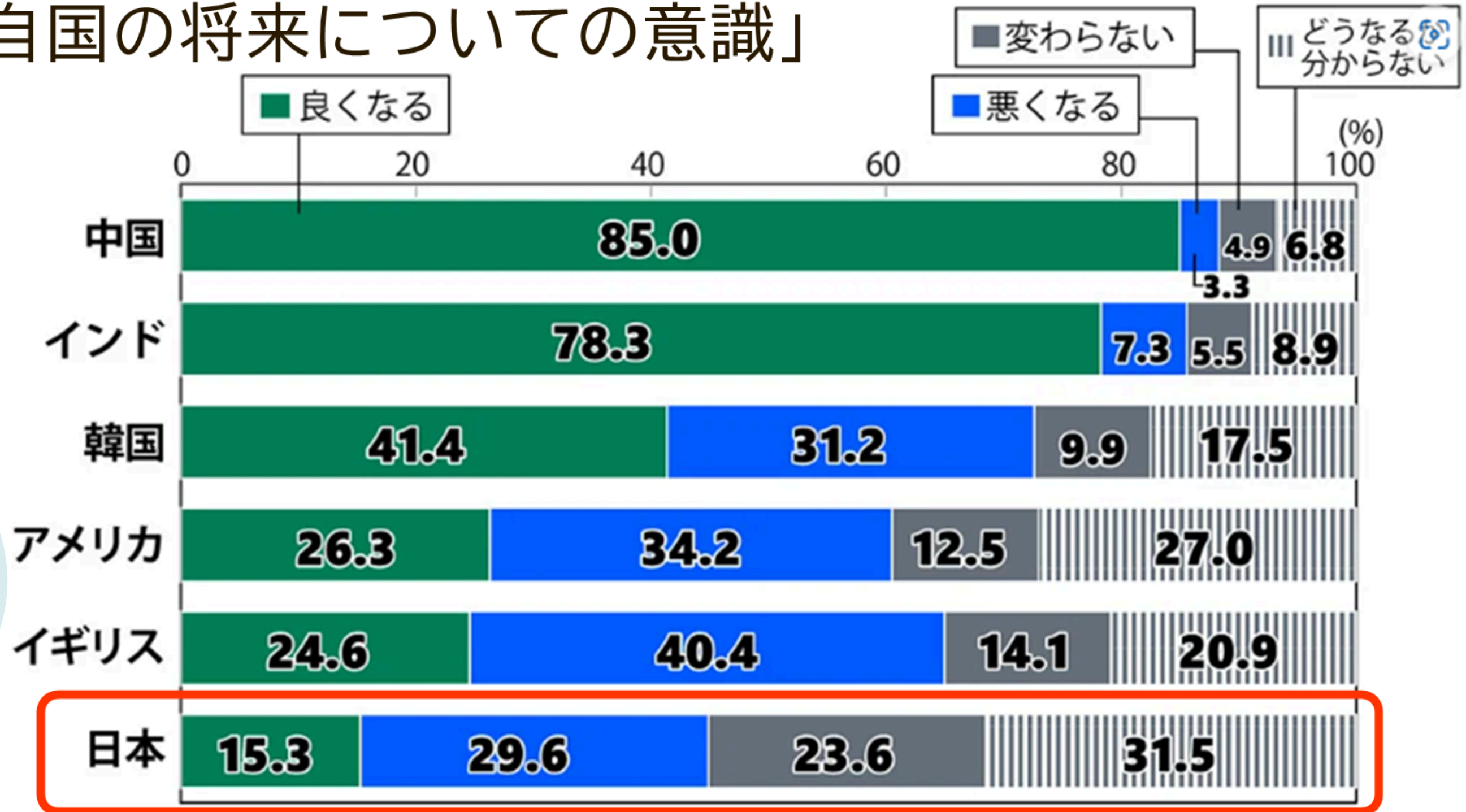
10歳代…39.43%

20歳代…34.62%

(令和6年衆議院議員総選挙における投票率)

日本財団18歳意識調査 (2024年2月実施)

「自国の将来についての意識」



自国の
将来を悲観

日本財団18歳意識調査 (2024年2月実施)

「自身と社会の関わりについての意識」

社会参画の意識や
自治意識が低い





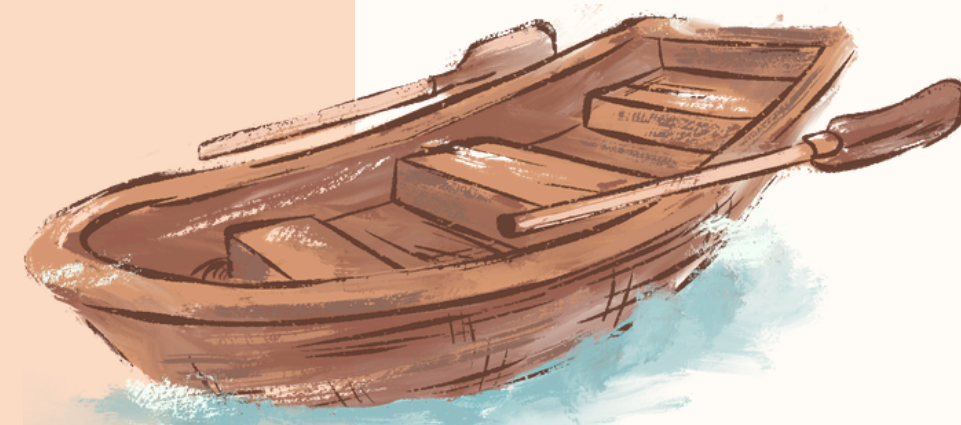
子ども

は

未来の創り手

自分の**人生の舵取り** をしているのは**誰か**？

その船を漕いでゆけ
おまえの手で漕いでゆけ
おまえが消えて喜ぶ者に
おまえのオールをまかせるな



舵取りを他人に任せると…

- **過度な要求**をする
- **すぐに学校の責任を問う**
- **すぐに人のせい、環境のせいにする**
- **人とちがう = 攻撃・排除・無視**
- **自信が持てない、常に不安**
- **満たされない**



不登校に
つながる可能性



だから...



他人軸ではなく

自分軸で生きる

他人軸ではなく自分軸で生きるために

主体性と当事者性



を育む



Subjectivity and partynature

主体性と当事者性

主体性と当事者性を育む

自分の学校は自分が創る

学校は楽しいところではなく
楽しくするところ

という意識を子どもも大人も



主体性と当事者性を

授業で
人を育てる
プロ意識を

授業で育む

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方



自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成



「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)



当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

Subjectivity and partynature 主体性と当事者性

1. 学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした主体的な学習活動の充実

高
中
小
幼

課題設定の充実
個人探究
グループ探究

生きて働く「確かな知識」の習得
興味・関心が広がる
教材・学習方法の選択を促進
自分の意見を表現する活動の充実
探究的な要素を持つ学習活動の充実
家庭学習の内容を自律的に決められる
ような段階的指導
(家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む)
各教科等

児童生徒主体のルール形成や
学校生活改善、行事の創造等
の明確化
(みんなが学びやすいルールや環境
の構築を含む)
納得解を形成しようとする
ことの重要性の明文化
(安易な多数決の回避や少数意見の
吟味)
特別活動

考え、議論する
道徳の徹底
(主体的な判断の
重要性、知・徳・体の
調和のとれた発達に
向けた、道徳的価値
の確立を乗り越える
実践の推進)
道徳

言葉を用いて思考を深めていく指導

他者と関わり協同する力の育成

多様な子供を誰一人取り残さない
視点としての個別最適な学び
と協働的な学びの一体的充実

科学的知見も生かした
効果的な指導計画・授業方法
児童生徒の学習方略の指導

障害や認知特性等、多様な
実態を踏まえた調整
(教科等、家庭学習含む)

全ての活動の基盤として
の心理的安全性の確保

学びをデザインする高度専門職としての教師
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
総合的な勤務環境整備

CHALLENGE!

個人探究
や
グループ探究

CHALLENGE!

教材や学習方法
の選択
↓
単元内自由進度
学習

引き続き
学校全体で!

探索的対話を
通して
生きて働く知識
を身に付ける
子ども主体の授業

引き続き
広げていきたい!

- ・子ども主体の行事
- ・ルールメイキング

今年度もみんな楽しく研究しよう！

探索的対話を通して

見方・考え方を働かせ、

資質・能力（特に生きて働く知識）

を身に付ける算数科の授業

今年度は
「個」の学習状況
をより丁寧に
見取って…



主体性と当事者性を授業で育むために

- **単元で**授業を創る（教科書網羅主義から脱却）
- **単元を通して**育みたい**資質・能力を明確にする**
- **間違いや分からなさを生かす**
→ 「**ちがいは豊かさになる**」が**実感**できる
- **授業で子ども同士をつなぐ**
→ まずは「**聴く**」を大切に
- 「**個**」の学習状況に着目
→ **誰一人取り残さない**授業の実現



Subjectivity and partynature

主体性と当事者性

主体性と当事者性を授業で育むために

個々の学習過程を見取り、指導に生かす

形成的評価

うれしいなあ
よし、
これからも…

昨日学んだこと
を生かして
考えようとして
いるのいいね！



一人ひとりが成長を実感できる

自己評価

・・・は、まだできな
いけど、・・・は、
分かるようになった。
次は・・・



を大切に

キーワードは
自己決定!

主体性と当事者性

生活指導で育む

・「指示・命令・号令」から「**問いかけ**」へ

・教師が**ジャッジし過ぎない**

子ども同士のトラブルでは、当事者同士がどういう関係で

ありたいのか**問う**→当事者同士の合意→手段を問う→**自己決定**

主体性と当事者性を生活指導で育むために…

共通理解を図りたい

叱る



ということ

そもそも人間は…

良くないことをした人を罰したい
という**処罰欲求**がある

「怖い」「嫌だ」等のネガティブ感情を感じると「**闘争・逃走反応**」と呼ばれる脳の危機対応メカニズムが働く

※権力差がある場合、弱者は「謝る」「従う」という逃走反応を取る



Subjectivity and partynature
主体性と当事者性



無限ループにはまってしまふのは…

叱る

=

叱られる人のネガティブ感情による反応を利用して、相手をコントロールする行為



に、なっているから

そして、処罰欲求、逃走反応を知らないから

もちろん、

危険行為

人権侵害

など、直ちにその行為を止める必要がある時は叱る。

しかし、その行為が止んだら、叱る行為も終える必要がある。



しかし

学習や**成長**を促すなら

① 本人がしたことを**振り返られる**ように
フィードバックする

② **やり直す**ための行動を
自己決定できるように促す



これを「叱る」ではなく、子どもを主語にした
「**やりなおし**」と呼ぼう

① 本人がしたことを**振り返られる**ように
フィードバックする

② **やり直す**ための行動を
自己決定できるように促す



緊急時以外は「叱る」を手放し、 「やりなおし」を促そう！

今回、あなたがしたこと
はどんなことだった？

それについてどう思っ
ているの？

じゃあ、どうする？

・・・をしてしまった。

うーん、・・・だから、
・・・したことは
良くなかったと思う。

今度からは、
・・・していきたい。



緊急時以外は「叱る」を手放し、 「やりなおし」を促そう！

友だちとのトラブルの場合…

- ①当事者同士の**共通のゴール**
「**どうなりたいのか**」を見出す
- ②**共通のゴール**に向かうための
手段を**自己決定**する



Subjectivity and partynature

主体性と当事者性

主体性と当事者性を 地域と育む

- ・子どもは地域の宝
- ・地域住民は土、教職員は風
- ・周りの子どもが育てば、我が子も育つ
- ・文句は受け付けけないが意見は聴く

→今年度もサポーターを募集します！

R7年度は
60名登録



対象

北山田小学校の保護者、地域の方

不登校やいじめ、SNSでの誹謗中傷、失敗に対する不寛容、自分にとって都合なことは人のせい…。これらを解決し、誰もが幸せな社会を創るためには、「主体性」と「当事者性」を子どもたちに育むことだと考えています。「学校から社会を変える」ためには、学校と地域、保護者の連携が不可欠です。

保護者、地域の皆さん、「サポーター」として主体的に学校に入って、一緒に子どもたちの主体性と当事者性を育みませんか？



POINT1

いつでも気軽に活動できる

最初にサポーター活動の登録をしてもらいますが、活動する日や時間は自由です。サポーターの名札を付けて、休み時間の運動場を見て回るだけでもOKです！



POINT2

周りの子が育てばわが子も育つ

「人は人によって人になる」という言葉があるように、周りの子が育てばわが子も育ちます。サポーター活動では、わが子の学年以外の子どもを支援してもらいます。



POINT3

子どもたちにとって地域に愛着がわく

学校で保護者や地域の方とつながると、子どもたちは地域への愛着を感じようになります。その愛着は、「地域のために何かしたい」という思いにつながるはずですよ。

少しでも興味のある方は、学校にお電話ください。校長が活動内容を詳しく説明させていただきます！

吹田市立北山田小学校
☎ 06-6876-7333

サポーターは何をするのか

- 来る日も活動時間も**自由**。**気軽**に活動
- 子どもと**顔見知り**になる
- 子どもの**主体性と当事者性を育む**サポート
- 声かけは「**どうしたの？**」→「**どうしたいの？**」
→「**何か手伝えることある？**」
- **無理のない範囲で教職員の依頼**を受ける

我が子がいない学年で





サポーターの募集方法

- ・ 学校だよりや参観・懇談等に合わせて実施する説明会、地域の会議等で目的や内容を周知
- ・ 希望する賛同者にボランティア登録してもらう

登録時に、得意・好きなこと等も確認します

NEW

基本的にサポーターは主体的な活動ですが、学校からの依頼もします

- ・ サポーターを**活用**したい教育活動の**予定**を各学年から**集約**し、**依頼**を行う
- ・ 保護者はさくら連絡網、地域の方はメールで**学校から情報発信**や**サポート依頼**を行う

サポーターの活用

- サポーターは**困っている子を支援**するとともに、**主体性と当事者性を育みたい**という思いを持って**日常的に教室に入ります**
- 何か**気になること**があれば、サポーターに**声かけ**を
- ボランティアという立場で手伝ってほしいことがあれば**直接依頼もOK**
- 各教科、領域の学習で協力してもらおう等、**積極的な活用**を（インタビュー、ゲストティーチャー、見守り、お手伝い…等）



06

Determination

決意



未来を創るの**は**

目の**前**にいる

子**ども**たち



Determination
決意

この仕事に
誇りと
プライドを！

教職員は
未来を創る

職業だ！！



社会を変えるのは
学校だ！！

我々がそれを証明しよう！

さあ、今年度も
主体的に、もちあじを生かし、
対話し、助け合いながら
ワクワク仕事しよう！

よろしくお願ひします！

